

令和2年度 第13回 児童生徒の平和に関する図画・作文コンクール 図画の部 『審査結果の講評』

今回は新型コロナウイルス感染症による影響で、各学校とも応募作品が例年より少なかったのが残念でしたが、その中でも、応募した皆さんはコンクールの趣旨をよく理解し、今年も素晴らしい作品を出品してくれました。

低学年は、心の赴くままに描きたい場面や登場人物をのびのびと表現していました。友達同士で仲良く遊んでいる様子など、その年齢ならではの感じ方で明るく楽しく素直に描かれている作品が多くありました。

中学年は、人物の背景が丁寧に描き込まれており、色彩や構図のバランスも伝えたいことを表現するためによく考えられている作品がありました。一枚の絵に作者の様々な思いが込められた表現力豊かな作品もあり、全体のバランスや色の組み合わせを工夫し、絵の具が丁寧に使われていました。

高学年は、場面構成を工夫し、主題がはっきり伝わってくるような作品が多く見られました。いくつかの場面を組み合わせ、さまざまな技法を凝らして自分の感じた物語の世界を独自の世界で表現していました。

中学生は人物表現のレベルが高く、独創的に表現されていて、日常生活の様子が細かく表現されていました。周りの情景描写も的を得ており、色彩も素晴らしかったです。

どの学年も画面構成が素晴らしく、大胆で生き生きとした色彩の中に、細かな陰影まで丁寧に描かれていて、平和を願う気持ちが十分伝わる力作がそろい、作品から力強さを感じました。